

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

飯館村住民意向調査回答結果

復興庁、県、村の共催で、昨年12月に飯館村住民意向調査を行いました。

主な回答結果は、「帰村の意向」の問いには、「戻りたいと考えている」が32.8%、「まだ判断がつかない」が24.0%、「戻らないと決めている」が31.3%。

前回調査と比較すると、「戻りたいと考えている」が前回に比べ3.4%増加。「まだ判断がつかない」が8.5%の減少。「戻らないと決めている」が4.8%増加しました。

税金

昨年度に引き続き原子力災害の被災者に対する減免及び課税免除を講じてきた結果、今年度の税収は、大幅な減少を見込んでいます。普通税全体では、前年度決算額より多くなるも、22年度決算額に対しては、約70%の税収にとどまるものと推計しています。

平成27年分の申告相談

2月8日から3月15日まで、飯野学習センター青木分館をメイン会場として行いました。

昇口舗装の進捗状況

27年度の竣工見込み件数が、申込件数のおよそ3分の1の142件になりました。工事の早期竣工を目指し、28年度、29年度の2か年で、事業を完了させたいと考えています。

大谷地団地災害公営住宅

工事は順調に進行しています。入居者については、第1期募集として、大谷地団地に居住していた方を対象に募集を行いました。

8戸の募集に対して5件の応募があり、現在、入居の手続きを進めています。

いいたて全村見守り隊

隊員の安全確保を行いながら、パトロールを実施しています。

いつとき帰宅バス

平成25年8月2日から一時帰宅支援事業として運行を開始し、12月末現在2051人が利用しています。

いやしの宿いいたて閉所

平成24年9月からスタートした「いやしの宿いいたて」は、2月8日に閉所式を行いました。利用者は延べ9万7749人を数え、村民のつながりや心身の健康やストレス解消に大きく寄与しました。



「すくすく」開所1周年

一昨年に開所した「いいたて子育て支援センター すくすく」が、12月18日で開所1周年を迎えました。

開所以来、震災後休止していた村の乳幼児健診を再開したり、福島市周辺に避難する子育て世代のサポートを行ったりしてきました。

この1年間で、延べ4066人が利用しています。今後も、当面の間は福島市で運営を継続し、避難中の子育て世代の支援に努めます。



宅地除染

宅地除染は、同意頂いた分は、昨年12月末までに全て完了しました。

宅地除染後のホットスポット対応は、二枚橋・須萱、白石、大久保・外内及び前田・八和木の4行政区は、昨年12月末までに実施していますが、終了していない箇所については、平成28年中に完了する予定です。

農地・森林・道路除染

平成27年12月末までの農地・森林・道路などの除染は、先行5行政区のうち、二枚橋・須萱、白石、大久保・外内、関根・松塚の4行政区が全て完了しました。

平成28年度の除染工事は、平成27年度からの繰り越し工事ですので、現在、作業工程の見直しなどについて協議をしているところです。

片付けごみ

昨年5月から収集し、1月末まで1091世帯分を収集しました。

100歳賀寿

2月3日は飯館町の古川トミ子さん(飯館町)が、21日は北山ヨシイ(飯館町)さんが100歳を迎えられ、賀寿の伝達を行いました。

これまで、飯館村で100歳を迎えられたのは、北山さんで16人目となります。

冬の招待事業

冬休み期間中、今年も長野県松本市からの招待事業があり24人の子どもたちが参加し、3泊4日の体験を楽しみました。1月17日には北塩原村から雪っ子体験事業の支援を受け、24人の子どもたちが参加しました。

成人式

1月10日、飯野学習センターを会場に成人式を開催しました。式には、新成人68人中60人が出席し、多くのご来賓に見守られ、晴れて大人の仲間入りを果たしました。

成人を迎えられた皆さんの明るく、希望に満ちた未来を願っています。

小宮仮設焼却炉

昨年4月から12月末までに955トン焼却しています。排ガス等の測定項目については、すべて基準値以下であり、放射性物質濃度についても毎月の測定結果は、未検出となっています。

蕨平地区仮設焼却炉

昨年、11月に火入れ式を行い、試験運転及び本格稼働を行っています。



飯館村みらい議会

2月4日、小学6年生が議員となり「飯館村みらい議会」を開催しました。

小学生議員からは、ふるさとへの想いをつなぐ「までい宅急便」の提案や、「オリンピッククへの関わり」を通して村復興のPRを行う提案等が多く出され、村を思う気持ちに深く感銘を受けるところです。

